

学校運営協議会 議事録

学校名	大阪府立大阪南視覚支援学校
校長名	郡司 弘子

開催日時	令和4年2月17日(木) 10:00 ~ 11:30
開催場所	オンライン開催
出席者(委員)	委員長、委員5名
出席者(学校)	校長、教頭2名、課長補佐、首席4名、部主事3名、教務部長1名 (欠席2名)
傍聴者	なし
資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 令和3年度 第3回府立大阪南視覚支援学校 学校運営協議会 次第 ・資料2 令和3年度 大阪府立大阪南視覚支援学校 学校運営協議会 委員名簿 ・資料3 令和3年度 学校教育自己診断の結果について ・資料4 令和3年度 学校経営計画及び学校評価について(案) ・資料5 令和4年度 学校経営計画及び学校評価について(案)
備考	

議題等(次第順)
<p>【協議】</p> <p>(1) 令和3年度 学校教育自己診断の結果について (首席) 資料3</p> <p>進路指導や安全に対する取り組みについて肯定的意見が多かった一方で、行事に関する項目については肯定的意見が70%に達しなかった。これは感染症拡大防止のために、保護者保証人の参観を無しにした行事があったことが要因として考えられる。委員からは通学路の環境改善について質問があり、区の地域課と連携して通学路の照度向上を図ったことを報告した。また、今後のICT教育の進め方について、点字教育との両立の観点で活発な意見交換が行われた。</p> <p>(2) 令和3年度 学校経営計画及び学校評価について(校長) 資料4</p> <p>他校との交流として、オンライン合同授業(大阪北視覚支援学校・沖縄盲学校・帯広盲学校)や早期教育理解啓発ポスター作製(大阪北視覚支援学校と共同制作)について報告をした。働き方改革については、感染症対策に時間を要したため業務見直し検討の時間を十分に取れなかったことが反省として挙げられた。委員からは、働き方改革については学校独自の工夫には限界があるのではという意見が出された。</p> <p>(3) 令和4年度 学校経営計画及び学校評価について(校長) 資料5</p> <p>重複障がい教育プロジェクトチームを発足することや、医療的ケア委員会の設置について報告をした。また、今年度に引き続き、ICT教育やキャリアプランニング、働き方改革についても取り組みを進めていくことの説明をした。委員からは、大阪府の2つの盲学校(本校と大阪北視覚支援学校)の連携が更に進むことへの期待のコメントがあった。</p> <p>【報告】</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策等について (首席)</p> <p>新型コロナウイルス陽性者が校内に出た場合は、濃厚接触者の絞り込みを学校が行い保健所が追認するこ</p>

とについて説明をした。また、1月・2月に単学部臨時休業を行ったことを報告した。

(2) 学校行事、各学部の概況について (各部主事)

幼稚部の地域体験(散歩)での地域の方々との交流や中学部の和太鼓音楽発表、高等部弁論大会などコロナ禍でも生き生きと活動する児童生徒の様子が各部から報告された。卒業後も相談できる場所として卒業生とつながっていて欲しいと、委員からコメントがあり、卒業生との交流や進路先でのコミュニティの広がりについて意見交換がなされた。

(3) 専修部の国家試験に向けての取組みと入学者決定検査の受検状況について (専修部主事)

国試・入学者決定検査・入学予定者発表の日程と受験者数、卒業後の進路について報告をした。

次回の会議日程

日時	令和4年6月下旬～7月上旬 (予定)
場所	大阪府立大阪南視覚支援学校 会議室